

## 見性院住職からの一言十六（生き方と生活）

前略

この度、人材の募集・育成をさせていただくにあたり、小論文等の提出をお願いすることになりました。あくまでも業務拡大を図るのではなく、少数精鋭の集団を作り一人一人が輝いて生き生きと働ける職場を目指します。利益を追うことなく、社会価値の向上を目的とします。そのために人間的魅力のある人を採用させていただきます。

先日、今を（も）ときめく三人の人物の話を知ることができました。一人目はユニクロの創業者、柳井 正さん。柳井さんいわく、「人間は自らの運命の中でしか自らの人生はないと思う。運命に逆らわずそこは従順に。」「この世の中、特にアパレル業界は無駄なこと、無駄な商品が多すぎる！もっとシンプルに。」ということでした。二人目はユーミンこと松任谷 由実さん。「特に若い人達へ。人を頼ったり、あてにすることなく自分の力で生きていきましょう。私は私で生きていこう。」とのこと。

三人目は小泉 進次郎さん。「私は私にとって政治家とは職業ではなく生き方そのものである。世襲だからとか、人からいわれたとかは全く関係なく、自らが選んだ生き方であって全ては自己責任。だからこそ悩んで悩んだ末の苦渋の決断は自らするのであって、それが自己決定。そこに覚悟と責任が生まれる。」政治家 小泉 進次郎らしい哲学をそこに見ることができます。

私は常々、見性院で共に働いてくれる人には仕事を通じて人格者に哲学的になっただけだと思っております。生活のためではなく、自分の人生そのものを見極めていく人に成長していただければと考えております。見性院は同志の集まりにしたいと思っております。

そんな道心の人來たれ。

心よりお待ち申し上げます。

合掌

令和元年 5月4日

関係各位

見性院 橋本 英樹

